



本間 そのこ

福祉20年の実績を

未来のさいたま市へ!

発行元:
心が通い、支えあう
さいたま市を築く会

No.4

討議資料

次世代へ続く「さいたま市」を実現します!

福祉で培った経験を活用して
一人ひとりを大切に思う政策を

- 01 すべての人々をサポートするきめ細かい政策を!
- 02 介護サービスの拡充を!

さいたま市の未来を見据えた 公平公正な政策を

- 01 子どもや子育て世代の視点に立った政策を強力に推進
- 02 進行し続ける少子高齢化に対する政策を!
※少子高齢化が進行し、2030年にはさいたま市の65歳以上の割合は28%と推測されています。

豊かな社会を実現するための視点や論点の多様化を加速したい!

下記にも、女性議員の割合が少ないことが示されています。

女性議員が増加することで、女性のニーズが考慮され、政策において女性の声を十分に反映させ、女性の意見が適切に「代表されている」と感じられることが必要と示唆されているのではないのでしょうか。

2022年7月に世界経済フォーラム (WEF) が発表した、2022年度版の「Global Gender Gap Report」(世界男女格差報告書) では、

日本のジェンダーギャップ指数

146カ国中 **116** 位 G7の中で **最下**

政治分野における女性活躍の項目

他国の平均から大きく遅れをとっているのが、

146カ国中 **139** 位!!

全国女性の参画マップ (地方議会編)

2022年8月作成 内閣府 男女共同参画局



都道府県議会における女性議員の比率

都道府県	議員 総数(人)	女性(人)	男性(人)	女性議員の比率(%)
東京都	126	40	86	31.7
京都府	59	13	46	22.0
神奈川県	104	19	85	18.3
滋賀県	42	7	35	16.7
兵庫県	83	13	70	15.7
岩手県	47	7	40	14.9
埼玉県	87	13	74	14.9
岡山県	54	8	46	14.8
沖縄県	48	7	41	14.6
鳥取県	35	5	30	14.3
長野県	57	8	49	14.0
宮城県	59	8	51	13.6
静岡県	67	9	58	13.4
千葉県	90	12	78	13.3
栃木県	46	6	40	13.0
長崎県	46	6	40	13.0
北海道	99	12	87	12.1
三重県	51	6	45	11.8
秋田県	43	5	38	11.6
新潟県	52	6	46	11.5
徳島県	36	4	32	11.1
群馬県	47	5	42	10.6
富山県	38	4	34	10.5
鹿児島県	49	5	44	10.2
福岡県	84	8	76	9.5
山口県	44	4	40	9.1
愛媛県	45	4	41	8.9
福島県	57	5	52	8.8
島根県	34	3	31	8.8
岐阜県	46	4	42	8.7
茨城県	60	5	55	8.3
宮崎県	37	3	34	8.1
奈良県	41	3	38	7.3
大分県	84	6	78	7.1
和歌山県	42	3	39	7.1
石川県	43	3	40	7.0
青森県	46	3	43	6.5
広島県	64	4	60	6.3
福井県	34	2	32	5.9
高知県	35	2	33	5.7
佐賀県	37	2	35	5.4
山形県	39	2	37	5.1
愛知県	98	5	93	5.1
香川県	39	2	37	5.1
大分県	43	2	41	4.7
熊本県	47	2	45	4.3
山梨県	34	1	33	2.9
全国合計	2,598	306	2,292	11.8

市区町村議会における女性議員の比率



(注) 総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員数」より作成 (2021年12月31日現在)

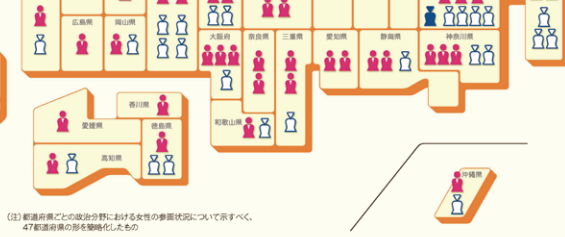
首長



(注) 総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員数」より作成 (2021年12月31日現在)

政治分野における女性の政治参画拡大は、政治に民意を反映するため極めて重要です。2018年には議会議員の選挙において、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指す法律が施行され、2021年には、政党の取組を促進するとともに、国・地方公共団体の施策を強化するための改正法が施行されました。

全国計 11.8%



国会議員の女性比率

衆議院の女性議員比率 9.9%
参議院の女性議員比率 25.8%

(注) 衆議院議員は2022年7月8日現在、参議院議員は2022年7月28日現在 (衆議院・参議院HPより)

世界の女性議員比率

世界平均 下院又は一院制議会 26.4%、上院 25.7%
日本の衆議院の女性議員比率は164位
(下院又は一院制議会の順位)

(注) IPU (国際議会連盟: Inter-Parliamentary Union) HPより
調査対象国は180カ国 (2022年7月1日現在) 2022年7月28日現在

市区町村別の詳細は「市区町村女性参画状況見える化マップ」で検索!



女性がゼロの市区町村議会の比率



(注) 総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員数」より作成 (2021年12月31日現在)



作成: 内閣府男女共同参画局

少数の女性議員が社会の女性全員の意見を代表することは不可能では?!



本間そのこは、女性議員の数が増えることにより、「女性の視点」の多様性が生まれ、様々な論点や政策が議論出来るの議会を目指します。

それは、女性のためだけでなく、政治が広く社会を捉えるために、そして、社会全体にとって重要な課題を見逃さずに、世の中の多くの女性の意見を代表した政策が議論されることになると考えております。



女性議員が増えるメリット

子育て関連施策や、女性特有の病気へのケアなど、女性であるがゆえに直面する課題への政策について、女性議員が増えることで実現性が高まると考えられます。

女性の議員が増えることよりそれぞれの女性議員が発言する機会が増え、たとえば、保育サービスに関するテーマが頻繁に議題に上がるようになるなど、女性同士の相乗効果ゆえの結果が生まれる事もあるかと思えます。

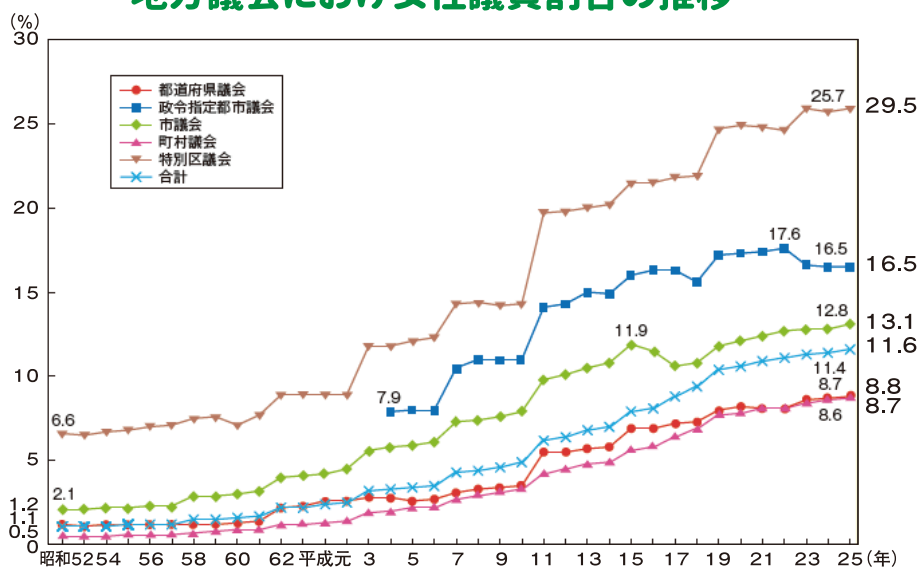
つまり、議会がどのようなメンバーで構成される場であるかが重要です。

日本の人口に占める男女の割合はほぼ半々ですが、議会の構成員が男性に偏るとすることは、平等な議論がされているとは考えにくく、多様な立場、考え方の人々が集まる場になることで始めて多様性が生まれると思います。

その1歩目としてまずは女性の割合を高めていくことが求められていると感じています。

多様な人々が生きやすい社会になるために、多様なメンバーが集う議会になるために、一度立ち止まり、選択肢を考えていくことが、今とても大切なことだと思います。

地方議会における女性議員割合の推移



(備考) 1.総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調査」より作成。

2.各年12月末現在。

3.市議会は政令指定都市議会を含む。なお、合計は都道府県議会及び市区町村議会の合計。

プロフィール 1963年6月23日 浦和市町谷生まれ。

教員の両親のもとに生まれ、両親が共働きのため越境通学となりました。

父 本橋 都志雄 (平成30年9.16他界) [勤務先] 東浦和中学校、他
母 本橋 聡子 [勤務先] 三室小学校、他

中学 私立十文字中学校 幼少期よりうらわスイミングスクールに通い、

高校 私立十文字高等学校 中・高は水泳部に所属。

大学 文化女子大学家政学部服装学科 競技スキー部に所属。

- ▶ 相談員 (特別養護老人ホーム、通所介護、有料老人ホームなど) を10年経験。社会福祉士・介護支援専門員を取得。独立型居宅介護支援事業所の開設し、ケアマネジャーとして約10年実務に携わる。
- ▶ 埼玉県介護支援専門員協会会員
- ▶ 日本ケアマネジメント学会会員
- ▶ (元) NPO法人つぼみの会 代表理事
- ▶ (元) 独立型居宅介護支援事業所 つぼみ 管理者

心が通い、支えあうさいたま市を築く会 〒336-0922 さいたま市緑区大牧1218-33

TEL 048-753-9179 FAX 048-753-9163 E-mail info@sonoko-honma.com

本間そのこ公式ウェブサイト

<https://sonoko-honma.com>

